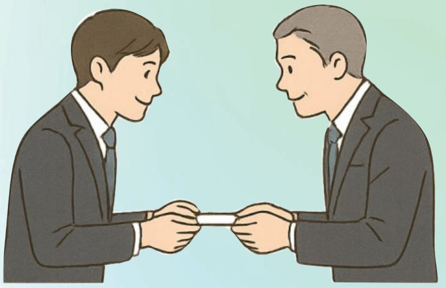
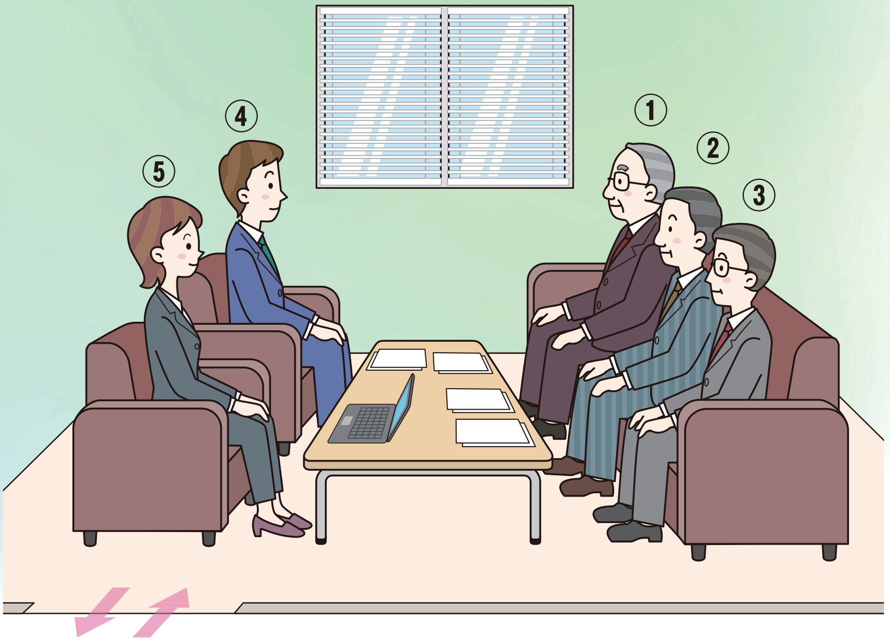
社員が辞めない会社で、上司・先輩がしてくれていること

社員が辞めない会社で、上司・先輩がしてくれていることを、長年の会社人生で見てきたこと、取り組んだこと、様々な会社・人とのお付き合いの中で見たり聞いたりしてきたことを思い起こしながら、「ビジネスマナー」、「対話」、「注意・指導」、「成長」に分けて書き出してみます。

1. ビジネスマナーをきちんと教えてくれる

- 上司・先輩方が率先して挨拶をしてくれる
- 上司・先輩方の礼儀・接遇マナーが良い
- 礼儀・接遇マナーについて丁寧に教えてくれる
  応接室・宴席での座る位置、車・電車・飛行機での座る位置
  服装のあり方、ネクタイの締め方、お客様のお見送りの仕方等
- 社会常識を丁寧に教えてくれる
  電話応対、お辞儀の仕方、葬儀の服装・お供え・弔電・お悔み、各種お祝い等々





2. 対話の時間を積極的に持ってくれる

●対話（雑談含めて）の機会を多く持ってくれる（※1：1：2面談）
業務の目標　個人のスキルアップ目標等の指導
●話を最後までさせてくれ、聴いてくれる
●プラスの方向に導くような、質問や話し方をしてくれる
●自分のことを知ろうとしてくれている
●プライベートの話も聞かせてくれる
●さりげなくプライベートについても聞いてくれる、悩みを引き出してくれる

※1：1：2面接　私が勤務した松下電工（ 現パナソニック）で実施していたもので、内容は上司と部下で、年２回（半期ごとに）１対１で１時間以上時間をかけて面談し、目標設定・達成状況や仕事内容、プライベートなどについて対話をし、コミュニケーションをとるというものです。定例以外にも何かあれば気軽に面談の機会をもちます。

3. 注意・指導を根気よくやってくれる

- ●仕事のやり方をキチンと根気よく教えてくれる
- ●解らないことを、何度聞いても嫌がらずに教えてくれる（聴く姿勢をもっている）
- ●自分が理解しにくいことを、懇切丁寧にわかるまで教えてくれる ビジュアルで客観的な資料の大事さを！
- ●ミスの注意を受ける時、丁寧な指導がある
- ●クレーム・事故・トラブルに遭遇した時、その対応、処理の仕方をサポートし丁寧に教えてくれる
- ●過去のうまくいった、うまくいかない仕事の事例を、折を見て話をしてくれる
- ●他部署とのやりとりで問題があった場合、上司、先輩が前面に立ってくれる
- ●役に立つ、参考になる書籍、文献、人物等を紹介してくれる
- ●この問題については誰に相談したらよいか教えてくれる
- ●自分の足らないところ、勉強不足のところを見抜いて様々な指導をしてくれる
- ●仕事上の良い見本、テクニックを惜しげもなく披露してくれる
- ●キチンと習得すべき、仕事上のルーチンワークの大事さを教えてくれる
- ●今の勤務年数、キャリアで何が不足か、何を身につけていかなければならないか　指導してくれる
- ●この仕事のやり方は正しいのか、間違っているのか、適切にジャッジ、アドバイスしてくれる
- ●何故この仕事をやらなければいけないのか、マスターしなければならないのかを説明してくれる（部下をもったとき教えられるように）

4. 成長に惜しみなく手を貸してくれる

- 自分の良いところを伸ばそうとしてくれる
- 自分を引き上げようとしてくれている
- 一緒にやった仕事の手柄（受注獲得等）を、部下後輩の自分を前面に立ててくれる
- 小さな企画からやらせてくれ、サポートしてくれる
- 自分のやりたい仕事を、その方向に向かって支援、サポートしてくれる
- 新しい仕事に積極的にチャレンジさせてくれる
- 会社の褒賞制度の申請を積極的に勧めてくれる
- 褒賞制度申請で価値・評価が高まるよう、書き方等を指導してくれる
- 机上だけで考えるのではなく、現場を見ることを勧めてくれる
- 他部署や社外との交流、展示会・セミナー等への参加を積極的に勧めてくれる
- 一学一践を実行させてくれる

以上、上長（上司・先輩）は自分の学んできたこと経験してきたことを惜しみなく伝授していく、それが自分（上司・先輩）の更なる成長にも繋がり、上へ上へと自然に上っていくもので、それらが居心地の良い会社への風土作りになっていくものだと思います。

希望や想いをもって、縁あって入社した会社で、様々な指導をし、成長を支援してくれる上司・先輩がいることが、社員の定着に繋がっていくことになるのではないでしょうか。

長嶺　堅二郎